

検討スケジュール（案）

平成13年11月22日

ロケットや人工衛星といった宇宙における活動基盤(宇宙インフラストラクチャ)の製造・運用の産業化はもとより、これら活動基盤を利用した一連の活動の産業化や、その活動そのものの拡大・促進を図ることを目的として、我が国全体を見通した具体的な取組みの基本をとりまとめるため、調査検討を行う。

【第1回】（11月22日）

宇宙開発利用を推進する上での課題について

- (1) 宇宙開発利用専門調査会の運営について
- (2) 我が国における宇宙開発に対する取組みについて

〔 宇宙開発を所掌事務とする総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省から取組み状況を聴取。 〕

- (3) 我が国の宇宙関係予算について
- (4) 今後の専門調査会の進め方について

【第2回】（12月上～中旬）

宇宙開発利用を推進する上での課題について

- (1) 宇宙開発利用の産業化について
 - 打上げサービスにおける産業化の課題
 - 人工衛星開発・製造における産業化の課題
- （関係企業等から産業化に係る課題等について聴取。）

【第3回】（1月中～下旬）

宇宙開発利用を推進する上での課題について

（1）三機関統合に係る検討状況について

〔文科省から、3機関統合準備会議における検討状況について説明を聴取。〕

（2）宇宙利用の現状と今後の取組みについて（その1）

〔情報収集・危機管理、地球観測、測位・国土管理・防災等の分野ごとに、関係府省からの説明を聴取。〕

【第4回】（2月上～中旬）

宇宙開発利用を推進する上での課題について

（1）産業化を巡る欧米の状況と今後の世界の動向について

（欧米の民間企業、関係機関等から状況を聴取。）

（2）産業化に向けた我が国の取組みについて

（宇宙開発機関、産業界等から説明を聴取。）

【第5回】（2月下～3月上旬）

宇宙開発利用を推進する上での課題について

（1）宇宙利用の現状と今後の取組みについて（その2）

（通信事業者など民間企業等から意見を聴取。）

【第6回】（3月下旬）

論点整理

<主な観点>

- ・ 総花的な推進から脱却するための宇宙開発利用の戦略的重点化
- ・ 産業界の活動を促進するための取組み
- ・ 関係機関の協力のあり方
- ・ 国際協力のあり方 など

各専門委員からの意見開陳

【第7回】（4月上～中旬）

具体的な取組みについて審議・検討

必要に応じて産業界、有識者等から意見を聴取。

【第8回】（4月下～5月上旬）

三機関統合に係る検討結果について（文科省から聴取）

報告書骨子（案）について

【第9回】（5月下旬）

報告書（案）について